

坂下地域振興会だより

第20号 平成26年1月23日



新年のご挨拶

会長 正田 建二

明けましておめでとうございます。皆様ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成25年度も、会員皆様のご支援ご協力を頂き、尾原親水公園の環境整備事業を中心に、芝桜の植栽等予定通り推進することができました。

なかでも、本年度より実施しています小・中・高校生による花の移植作業、生徒たちも交代で水やり等を実施し、元気に活躍しております。

また、地域間交流の場としてグラウンドゴルフ大会の開催、地区の「盆おどり・とんど」の支援等、地域振興会として取り組んできました。

坂下地域振興会は、平成26年度も地域に密着した事業を推進してまいりますので、皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。

最後に、皆様が今年もご健勝で、益々ご活躍されます事を役員一同心より念じて坂下地域振興会の、年頭のご挨拶とさせていただきます。



敬老会

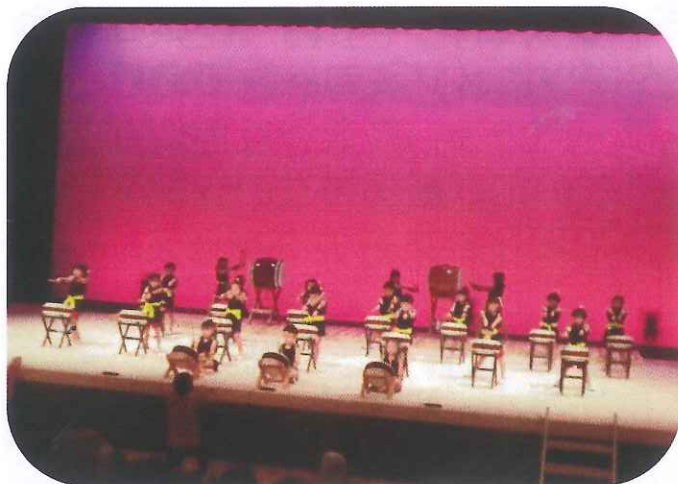
平成25年11月2日(土)に向原生涯学習センターみらいにおいて向原地域敬老会が開催されました。生涯学習センターみらいの落成式翌日にこけら落としとして開催され、太鼓や演劇などが披露されました。



敬老会に参加された皆さん



来賓の方々



こばと園年長組による『こばと太鼓』



向原小6年による『桜太鼓』



向原中1年による『丸山太鼓』



長田明神一座による演劇

国貞山神社は1515(永正12年)頃、丸山山頂から当山へ移された。この社には八幡、祇園、巖島の三社を合祀している。いずれも毛利氏の勧請と伝えられているがその創建については詳かでない。「八幡神」は応神(オウジン)天皇、神功(ジングウ)皇后、武内宿禰(タケウチスクネ)が祀られている。八幡信仰は早くから仏教の要素を取り入れ神仏習合思想の要素が強く、宇佐神宮が総本宮である。鎌倉時代には武家の守護神として発展し、各地の荘園にも鎮守神(一定の地域を守護する神)として勧請され、全国に広まった。一般に神社は荘園支配や領国支配などと密接な関連性を有するといわれているが、八幡神社は一種の護国神であり、ひいては村落の守護神であった。祇園社の祭神は素戔嗚尊(スサノオノミコト)で、古くは吉田荘が京都祇園社の社領であったこと、毛利氏が祇園社を守護神として尊崇していたことなどから祇園社の市内での分布は広い。祇園信仰の原形は疫病除けの願いだといわれるが、「夏越しの祓い(ナゴシノハライ)と合体して五穀豊穰、除厄、除災などを祈願する信仰となっている。

巖島神社は祭神が市杵嶋姫命(イチキシマヒメノミコト)、田心姫命(タゴリヒメノミコト)、田湍姫命(タギツヒメノミコト)であり、古来、海上守護の女神として信仰され平家一門の強い巖島神社信仰があった。荘園時代には豊島郷、風早郷としてこの地が巖島神社の支配下であったことや、毛利氏の巖島神社信仰により祀られたものであろう。

国貞山神社が現在の地に移された時代の1513年(永正10年)には毛利氏は坂郷を直轄地としてとりあげ、上市に代官を置いている。1516年(永正13年)には郡山城主興元が24歳で死去。嫡子幸松丸は2歳、猿掛城の元就は20歳であった。また、この時期、坂広明の甥、志道広良(シジヒロヨシ)が執権を務めていた。毛利一家中で最有力庶家となっていた坂氏は毛利本家の補佐の重臣となっており執権として活動していた。

グラウンドゴルフ大会

平成25年10月27日(日)午前9時より、第10回グラウンドゴルフ大会が開催されました。最初は肌寒い感じでしたが、次第に好天に恵まれ暖かい日ざしの中で、子どもから大人まで応援の方も含め70名



グラウンドゴルフ大会参加者の皆さん

を超える方々の参加をいただき競技を楽しみました。開催にあたり多くの方々のご協力を頂き、誠にありがとうございました。

結果は次のとおりです。

【団体の部】

優勝：6区



団体優勝のカップを受け取る岩田さん

【個人の部】

優勝：赤川 吉韶さん（4区）

2位：河井 誠治さん（3区）

3位：平 正和さん（6区）

4位：建部 護さん（6区）

5位：藤村 貢さん（6区）

6位：伊呂波 真理子さん（6区）

7位：赤川 政枝さん（4区）

8位：正田 建二さん（6区）



2位：河井さん 優勝：赤川さん 3位：平さん



しっかりとねらいを定めて・・・入れ～



みんなで盛り上がりました!

編集後記

今年はうま年です。干支にあやかり大きく飛躍し何事もうまくいく年になるといいですね。今年もよろしくお願い致します。

【広報委員会】
山本富士夫 小野博明 望月靖通
桃井千春 井上優子 大下幹成